

令和6年5月31日発行



# こぶし

学校だより 6月号  
東久留米市立第十小学校  
校長 大澤 宏史

## 「VSOP論」～生きるために必要な力～

副校長 菅原 康人

5月25日(土)、無事に運動会を実施することができました。昨年度に続き、多くの皆様にご参観いただき、本当にありがとうございました。どの種目も印象的でしたが、1, 2年生の「みんなでハロ」、3, 4年生の「十春★Bling Bang」、5, 6年生の「SO-RAN SHOW TIME!」の表現運動が、やはり素晴らしかったです。これらの表現が成功したのも、保護者、地域の皆様の声援があったお陰であると思います。心から感謝申し上げます。

さて、私が中学生時代に国語の先生に教わった言葉で、今も心に留めている言葉を紹介します。「VSOP論」といい、「生きるために必要な力である」、この力を身に付けることが、これからの長い人生を生き抜く術(すべ)なのだと言われました。

まずは、「V～バイタリティ」です。意味そのものは、「活力」ですが、様々なことに挑戦することが大事であるということ。好きなことにも、苦手なことにも挑戦すること。失敗を恐れずに、たくさんの経験をする、ということです。たくさんの経験、たくさんの失敗が、その先、自分の夢を見付け、叶えていく力になっていく、そういう力です。

次に、「S～スペシャリティ」です。意味は、「長所、強み」ですが、自分の好きなこと、得意分野を伸ばす、〇〇の専門家になろう、です。まだ、見つかっていない人は、その好きなものを探す段階でもよいのです。〇〇については、△△さんに聞けば、わかるよね! となったら最高ですね。

3つめ、「O～オリジナリティ」です。意味は、「創意工夫のある、個性」ですが、「個性＝自分らしさ」を大切にすることです。個性は、自分にもともとあるものです。何か特別なことをするのが個性ではありません。ただ、今ある自分に満足することなく、プラスαできるとよいですね。今、自分がやっている係のお仕事・役割に「こうすればもっと良くなる、もっと楽しくなる」ができれば素晴らしいです。その繰り返し、よりよい自分になっていくのではないのでしょうか。

最後に、「P～パーソナリティ」です。堅く言えば、「人格」ですが、「人柄」と考えるのがよいですね。「あの人は人柄が良い」などと使いますが、つまりは、他者の気持ちを理解したり、寄り添ったりすることができる人のことをいうのだと思います。考え方は、いろいろですが、地位や名誉がある、ではなく、「他者に寄り添える人、信頼される人」になること、人間力を磨くことが、結果的に、将来仕事をする上で必要なことになるのではないのでしょうか。

さて、この「VSOP論」～生きるために必要な力～は、すぐに身に付くものではありません。学校での毎日の学習、ご家庭での毎日の生活習慣が、子供たちに「VSOP」の力を付けていくことに繋がります。いつか出来るようになるだろうではなく、今、この一瞬、この時間、今日一日の努力が大切です。子供達のもつ可能性を広げていくために、学校と家庭と地域が協力し合い、自分の力でしっかりと生きていける子供たちにしていきたいと考えています。

※運動会の保護者アンケートでは、たくさんの温かいお言葉、労いのお言葉ありがとうございました。教職員一同、俄然やる気になって居ります。感謝申し上げます。

# 育て！地域の宝～柳久保小麦～

5年担任 浪間・鳥海

第十小学校5年生は今、4年生の時に植えた柳久保小麦を育てています。今までの5年生はお米をバケツ稲で育てていましたが、今年度はお米ではなく柳久保小麦の栽培をすることにしました。4年生の時の学習を生かし、柳窪地域から生まれたオリジナルブランドを生産する、十小では初めての試みです。校舎の裏側にある西門（裏門）を入るとすぐにあります。柳久保小麦は背が一般の小麦よりも高く、風に弱い品種です。しかしながら味はおいしく、もちもちした食感があります。そろそろ収穫の時期になります。収穫したらどのようにするかは子供たちと考えていきます。自分たちで育てた小麦を学習に生かしていきたいですね。学校にいらしたときはぜひ見に来てください。



初めは小さな小さな種でした。



一週間で芽が出て、それからぐんぐん伸びていきました。



あっという間に、子供たちの身長を追いぬいていきました。



一穂に、たくさんの麦が実るようになりました。

4年担任 小池・星野

4年生の最初の総合的な学習の時間の学習は、柳久保小麦についてです。最初の授業では、柳久保小麦とはなんだろうから始まり、柳久保小麦について以下のような簡単な説明をしました。「柳久保小麦とは、江戸時代（1850年頃）に柳窪に住んでいる、奥住又右工門さんが西の方のお参りに行った帰りに、相模の国（今の神奈川県）から種を手に入れ、柳窪の土地にあった種に直して作り出したものである。別名『幻の小麦』と呼ばれている」子ども達に柳窪小麦についてどんなことを調べてみたいかを問いかけたところ。

- ・柳久保小麦の味は、普通的小麦の味とどう違うのか
- ・柳久保小麦はどのように育てているのか
- ・なぜ「幻の小麦」と呼ばれるようになったのか
- ・柳久保小麦の穂の高さはどれくらいなのか
- ・なぜ「柳窪」ではなくて、「柳久保」なのか

など、自分で調べたいテーマをたくさん見付けました。29日（火）には、奥住又右工門さんの子孫の奥住弘子さんが育てている小麦畑に行き、実際に柳久保小麦を見に行きました。皆興味をもって奥住さんの話を聞いていました。



奥住弘子さんにインタビュー



奥住さんの柳久保小麦畑

# みんなで頑張った運動会

体育主任 湯浅博貴

先日は運動会へのご参観、ご協力をありがとうございました。前日準備から片付けまで保護者・地域の皆様のご支援のおかげで無事終わることができました。十小全体で協力し、一体感のある運動会になったと思います。今後も子供たちがたくさんの成功体験を積み上げていけるよう、職員全体でより良い行事になるように努力していきます。よろしくお願いいたします。今回の運動会のプログラムごとに素敵な部分を紹介したいと思います。

## ・表現運動

かわいらしさ、美しさ、楽しさ、かっこよさなど、様々な魅力が詰まった表現を子供たちが披露してくれました。

高学年の「SHOW ダンス」は、早朝や休み時間を使い、自主的に練習を重ねていました。



## ・徒競走

どの学年も最後まで走りぬぎ、自分の力を最大限発揮していました。一生懸命に取り組む姿がとても素敵でした。

初めての80m走、練習の成果が出ていました。



## ・団体競技

低中高のブロックに分かれて、様々な競技を実施しました。それぞれの組のために、一丸となって戦う姿に感動しました。幸い怪我もなく、みんな一生懸命に参加することができました。

## ・応援合戦

士気を高め、お互いの健闘を祈ります。全校児童が声をそろえて盛り上げる様子は、すごい迫力でした。

6年生の応援団長の姿を見て、全校の児童が憧れていました。毎朝、練習を大変頑張っていました。

## ★運動会を終えて

先日アンケートでたくさんの感想を頂きました。今後の行事がより良くなるように努めていきます。よろしくお願いいたします。